

平成 20 年度・平成 21 年度
～実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業
実施団体好事例集～
【④大阪府板金工業組合（板金工）】

○モデル事業導入にあたって

当組合が運営する職業訓練校を活用し、高等学校・専門学校等と連携をとりながら若い技能者を育成する仕組みを構築したいと以前から考えていたところ、本モデル事業のお話を頂いたので是非取り組ませて頂きたいと思いました。2年間の事業を通じてOFF-JT及びOJTの体系化をはかり、初心者が確実に当業界の技能・技術を身に付けることが出来る様な仕組みづくりを目指しました。

○企業におけるメリット

- ・ 体系だった育成プログラムで実践的な人材養成ができ、訓練期間における各種費用の助成を受けることが出来る。
- ・ 建築板金すべての能力ユニットを知ることができ、どの分野で自社の強みを発揮するか、またどの能力ユニットを習得すればよいかを理解出来る。
- ・ 社員育成に前向きで熱心な企業であるとの評価を得て、企業としてのPR効果を得ることが出来る。

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・（訓練生より）学ぶべき技能が一覧表示されているため、目標が明確で自分なりに心構えが出来た。
- ・（訓練担当者より）客観的かつ公正な評価をすることにより、部下の育成の大事さ、技能承継の重要性を知ることが出来た。
- ・（訓練担当者より）体系的に学習しているためか、半年経過時点頃から見違えるように訓練生の技能が向上してきた。
- ・（訓練生より）日報・評価シート等により自ら評価することにより、自身の技能を客観的に見つめ直し、技能向上への動機付けとなった。
- ・（訓練生より）同じ業界の人たちと勉強出来たので、連帯感も生まれ、この業界で頑張っていこうという気持ちが強くなった。

○これから取り組む企業の方へ

実践型人材養成システムを活用する事により、企業の将来を担う現場技能者をより効果的に育成することが可能であり、しかもその育成に必要な経費の一部を国に助成してもらえ画期的なシステムです。又、企業の内部においても今までの社員教育を客観的に見直す大変よい機会となると思います。

「企業は人なり」この言葉の重みを実感されている皆様方におかれましては、本システムの有効活用により優秀な若い人材の育成を積極的に進めて頂き、高齢化の進む建築板金の業界を活性化して頂きたいと思ひます。